

世界に翔く宮崎牛

2000年6月号

No.27



セリが再会された宮崎中央農協家畜市場では、平均価格が前回を上回った(5月17日)



福岡ダイエーホークスへ最高級の「宮崎牛」が贈呈され、王監督と柳田選手(延岡出身)へ手渡された(5月12日 本誌5P)



県内約20カ所の消毒ポイントでは24時間体制の消毒作業を実施。生産者、関係者の協力により5月10日には終息宣言が出された(高城町有水作業風景)



みやざき食肉・乳製品フェア「元気牧場2000」は小雨にも拘わらず多くの家族連れで賑わい、焼肉無料試食コーナーでは絶え間なく行列ができた(6月4日 シーガイアにて)

6月号 目次

- **事業紹介** 口蹄疫対策等
 - 宮崎県における緊急対策の概要について from. 県畜産課 2
 - ～肉用牛経営安定化緊急支援対策について～ 3
 - ～農家経営安定対策(当面の運転資金、導入資金等)について～ 4
 - 畜産緊急対策(肉用牛)について from. 県経済連 4
- **福岡発** 宮崎牛を食べて、今年も日本一! from. 畜産会 5
- **事業報告** 平成11年度地域肉用牛肥育経営安定対策事業交付状況報告 from. 畜産会 5
- **技術情報** 堆肥化処理の基本と適切な管理について from. 県畜産試験場川南支場、畜産会 6
- **産肉能力検定情報** ～「照萩」号間接検定で日本一! 脂肪交雑4.1～ from. 家畜改良事業団 7
- **今後の行事日程** from. 家畜登録協会 8

情報誌「世界に翔く宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会 ●宮崎県肉用子牛価格安定基金協会 ●宮崎県家畜改良事業団 ●宮崎県家畜登録協会 ●宮崎県畜産会

口蹄疫に関する宮崎県の緊急対策の概要

1. 基本方針

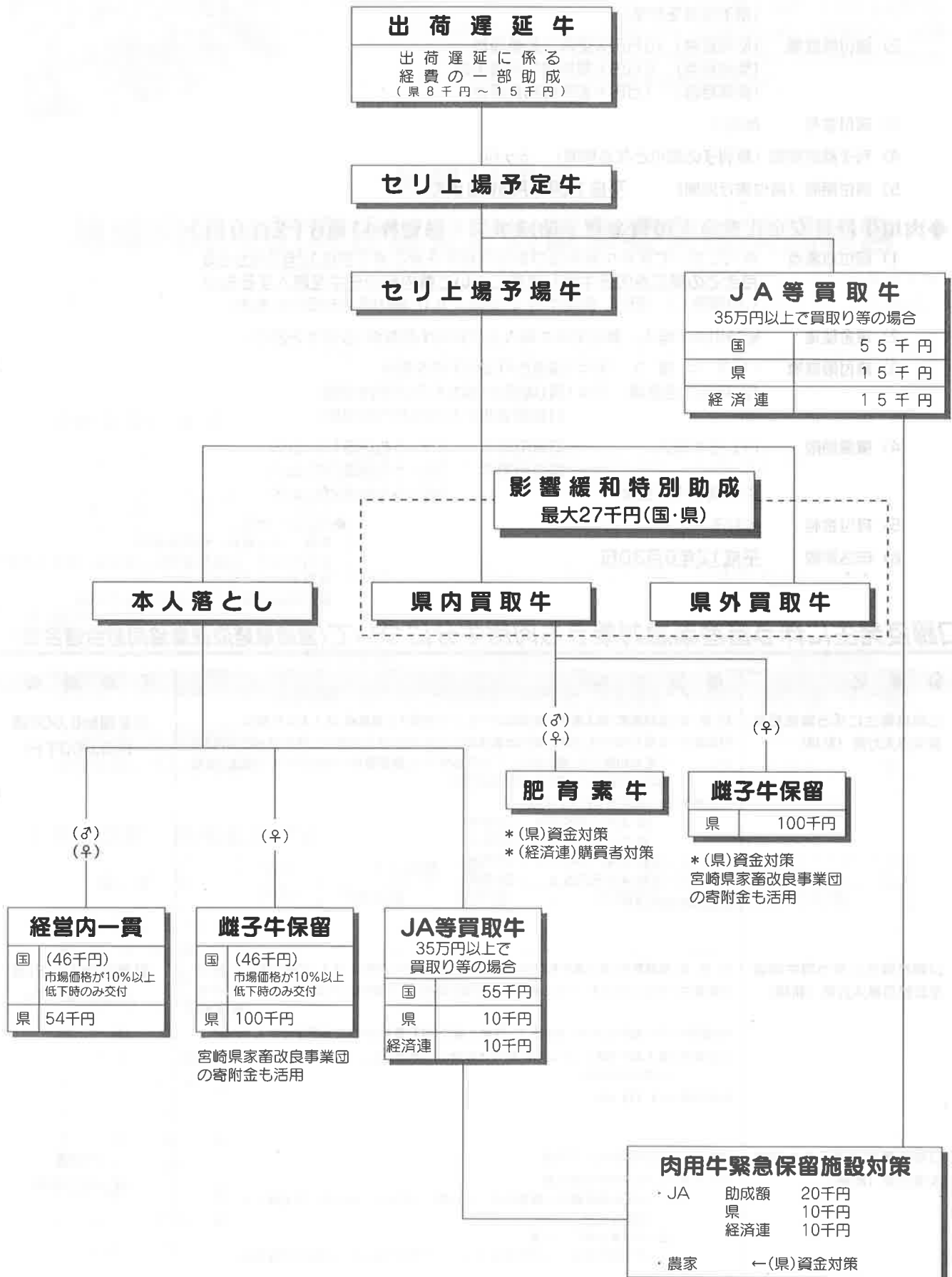
- * 防疫対策の徹底による早期終息・再発防止
- * 農家経営安定のための緊急支援対策の推進
- * 飼料自給等による安全性確保、繁殖・肥育一貫経営実現による宮崎ブランド再構築

2. 緊急対策の概要

	第2次緊急対策 (5月8日)	第1次緊急対策 (4月17日)
1. 防疫対策 ・ 口蹄疫被害拡大防止・早期終息対策 ・ 今後の監視及び再発防止対策		● 家畜伝染病緊急防疫対策推進事業 消毒用薬剤等の購入経費 予算額 60,000千円
2. 農家経営安定対策 ・ 深刻な影響を受けた農家等への中長期的対応も含めた金融等の総合的な支援対策	● 肉用牛経営安定化緊急支援資金利子助成事業 融資枠 41.62億円 貸付金利 無利子 償還期限 2年、5年	● 畜産経営維持資金緊急無利子融通助成事業 融資枠 200億円 貸付金利 無利子 償還期限 6か月
3. 生産構造再編対策 ・ 自給飼料生産体制の確立 ・ 肉用子牛の県内保留体制整備 ・ 繁殖・肥育地域一貫生産体制の確立 ・ 養豚経営健全化対策 ・ 家畜糞尿処理等の畜産環境対策	● 肉用牛経営安定化緊急支援対策事業 出荷遅延対策 地域内肥育等奨励金 肉用牛緊急保留施設対策 口蹄疫影響緩和特別助成 雌子牛保留対策 経営内一貫生産促進対策 予算額1,021,660千円 ● 養豚経営緊急対策事業 出荷遅延対策 予算額45,400千円	● 飼料イネ緊急生産拡大推進事業 飼料イネ種子確保による稲わら確保 予算額 44,000千円
4. ブランド流通対策 ・ 宮崎牛・宮崎ハマユウパークを中心とした本県農畜産物のブランド再生対策	● みやざき畜産物販売力強化促進事業 イメージアップ対策 販売促進対策 予算額 81,700千円	
5. その他		● 遅延豚検査手数料免除 減免額 462万円 ● 口蹄疫緊急対策貸付 融資枠 25億円 対象者 食肉事業者

問い合わせ先：宮崎県農政水産部畜産課、各農林振興局まで

肉用牛経営安定化緊急支援対策事業



緊急対策のうち農家経営安定対策(当面の運転資金、導入資金等)について

◆畜産経営維持資金緊急無利子融通助成事業<融資枠200億円>

- 1) 貸付対象者 蹄疫の発生に伴い、経済的な影響を受けている肉用牛経営・養豚経営 (県下全域を対象)
- 2) 貸付限度額 (肥育経営) 10万円×肥育牛飼養頭数
(繁殖経営) 5万円×繁殖雌牛飼養頭数
(養豚経営) 1万円×肥育豚飼養頭数
- 3) 貸付金利 無利子
- 4) 利子補給期間(無利子の貸付となる期間) 6ヶ月
- 5) 貸付期間(貸付実行期間) **平成12年6月30日まで**

◆肉用牛経営安定化緊急支援資金利子助成事業<融資枠41億6千2百万円>

- 1) 貸付対象者 県内において肥育牛経営及び繁殖牛経営を営む者で平成12年5月から6月までの間に県内子牛セリ市場において県内産の子牛を購入するもの (JA等除く)(但し、肉用牛導入計画について県の承認を受けたもの)
- 2) 貸付用途 肥育用素牛導入、繁殖用素牛導入及び簡易牛舎整備(改修等を含む)
- 3) 貸付限度額 (1)子牛導入 子牛1頭当たり380千円を限度
(2)簡易牛舎整備 子牛1頭(増頭分)当たり75千円を限度 (1借受者当たり200万円を限度)
- 4) 償還期限 (1) 子牛導入 肥育用素牛 2年(うち据置1年)以内
繁殖用素牛 5年(うち据置2年)以内
(2) 簡易牛舎整備 5年(うち据置2年)以内
- 5) 貸付金利 無利子
- 6) 申込期限 **平成12年6月30日**

◆問い合わせ先
農協、市中銀行、信用金庫等
西臼杵支庁、各農林振興局(畜産係、農政水産係)
各農業改良普及センター
畜産課畜政係 (TEL 0985-26-7138)

口蹄疫発生に伴う畜産緊急対策うち肉用牛分について(宮崎県経済農業協同組合連合会)

事業名	事業内容	予算額等
口蹄疫発生に伴う緊急肥育素牛導入対策(新規)	対象者:登録農家、導入素牛を本会に肉牛として出荷する農業者、法人および農協 対象素牛:平成12年5月、6月に県内家畜市場に出荷予定(市場隔離のための評価取引含む)の黒毛和種子牛(雌、去勢)でセリ価格又は、評価価格が雌は300千円以上、去勢350千円以上(いずれも消費税抜価格) 支出基準:導入素牛価格に応じ支出 雌:300~349千円 /25千円 雌:350千円以上 /35千円 去勢:350~399千円 /25千円 去勢:400千円以上 /35千円 支出時期:6月、7月	対象頭数6,000頭 186,000千円
口蹄疫発生に伴う肉牛施設増設緊急導入対策(新規)	対象者:登録農家、導入素牛を本会に肉牛として出荷する農業者、法人、家畜市場および農協 対象素牛:平成12年5月~7月に県内家畜市場出荷予定(市場隔離のための評価取引)の子牛(雌、去勢) 牛舎増設条件:子牛価格低落等に対処して、牛舎を緊急増設、買取または、賃借すること 支出基準:導入素牛頭数に応じ支出。管理運営費の一部助成として、導入頭数に対し1頭当たり25千円を支出 支出時期:6月、7月、8月	対象頭数4,000頭 100,000千円
口蹄疫発生に伴う肉牛緊急支援対策(新規)	対象肉牛:20km圏内肉牛750頭 支出基準:(1)配合飼料支援対策 当初屠畜計画日~屠畜日までの日数に1頭当たり614円/日乗じた金額を支出 (2)肉牛事故補てん対策 正常販売価格との価格差を支出、死亡肉牛1頭当たり250千円を支出 支出時期:5月	750頭 46,421千円



宮崎牛を食べて、今年も日本一に!

宮崎県福岡事務所では5月12日、福岡ダイエーホークスに「宮崎牛」20Kgを贈呈。福岡ドームでの対西部戦を前に王監督と柳田選手（延岡市出身）に最高級の「宮崎牛」を贈り、V2達成を激励した。王監督は「宮崎牛は、私も選手もみんな好きなので、おいしくいただいて頑張ります」とお礼を述べられました。

平成11年度

地域肉用牛肥育経営安定対策事業交付状況報告

本事業は肉用牛の枝肉価格の下落により肥育牛1頭当たりの四半期平均推定所得が、四半期平均推定家族労働費を下回った場合に発動されます。地域のデータにより生産費等を算出、発動を行うので、より地域の実態にあった発動となります。

平成11年度の助成金交付は生産者納付実績頭数27,780頭に対して、交付対象頭数は肉専用種の8,476頭に対し127,180千円が交付されました。

1. 助成金交付状況

(1) 第4四半期	肉専用種	1段階	10,000円／1頭当たり
(2) 第1四半期	発動なし		
(3) 第2四半期	発動なし		
(4) 第3四半期	肉専用種	2段階	20,000円／1頭当たり

2. 算定結果

区 分	第4四半期		第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	肉専用種	その他	肉専用種	その他	肉専用種	その他	肉専用種	その他
地域事業に係る発動段階	3段階	4段階	3段階	4段階	4段階	4段階	4段階	3段階
全国事業に係る発動段階	2段階	4段階	3段階	4段階	4段階	4段階	2段階	4段階

注) 地域事業の助成金交付は、全国事業を上回った分について行われます。

3. 積立頭数と助成金交付額

団 体 名	農家戸数	積立頭数 (頭)		助成金交付額 (円)	
		肉専用種	その他	肉専用種	その他
全国畜産農協連	3	289	1,069	1,400,000	0
宮崎中央農協	28	1,652	0	7,360,000	0
串間市農協	3	680	0	2,480,000	0
はまゆう農協	12	1,149	0	8,420,000	0
都城農協	90	4,890	243	32,180,000	0
こばやし農協	50	4,549	113	26,240,000	0
えびの市農協	16	578	2,334	4,100,000	0
綾町農協	3	274	0	1,780,000	0
児湯農協	16	1,164	640	6,890,000	0
尾鈴農協	12	578	923	3,940,000	0
高千穂地区農協	18	1,056	0	7,790,000	0
県経済農協連	2	1,684	178	12,230,000	0
県配飼価格協会	19	1,794	1,943	12,370,000	0
合 計	272	20,337	7,443	127,180,000	0

堆肥化処理の基本について

1. 堆肥化処理とは

家畜から排泄されたふん尿には、給与飼料の未消化物（有機物）や肥料成分としての窒素、カリウム、リン酸等（無機物）があり、飼料の未消化物には糖、でん粉、アミノ酸、タンパク質などの易分解性有機物が含まれます。易分解性有機物は分解されやすく、微生物等により分解され安定的なものとなります。このように、易分解性有機物を安定的にすることが堆肥化処理であります。

2. 堆肥化処理の目的

家畜の排泄物は、そのままでは汚物感があり、取扱が難しく、また、病原菌や寄生虫、雑草種子、有害物質等も含まれています。堆肥化処理を行うことで汚物感がなく取扱い易くなり、病原菌等も死滅あるいは分解するため、良質な有機質肥料源として利用できるようになります。そのほか、敷料及び水分調整材として利用されるオガクズ等の副資材は、作物の生育阻害物質であるフェノール等が含まれているため腐熟化（堆肥化）させ分解することが必要です。

3. 堆肥化処理の基本条件

家畜から排泄されたばかりのふんは水分が高く、そのままでは発酵が上手くいきません。そこで、水分調整や通気性確保のための比重調整が必要となり、水分調整や比重調整を行うことで発酵が促進され、堆肥化処理期間の短縮や良質な堆肥の生産が可能となります。水分調整や比重調整を行う方法としては、生ふんの乾燥処理、副資材（オガクズ、粉がら等）の添加が一般的です。逆に、水分不足の場合は加水する必要があります。堆肥化処理の発酵は主に酸素を必要とする好気性微生物によって行われますので、定期的な切り返し、強制通気（酸素）が必要となります。このように堆肥化処理の条件を整えてやることで堆肥中の温度が70℃以上にもなり、良質な堆肥が生産されます。表1に堆肥処理施設ごとの堆肥化処理条件を示しました。しかし、プラントメーカーにより条件等が変わる場合もありますのでマニュアルを参考にしてください。

一般的な基本条件

- 水分 60～70%程度に調整する
 - 比重 0.7程度に調整する
 - 通気量 堆肥1m³当たり50～300L/分（堆積後期は通気量を減らす）
- *水分の簡易な測定法として、堆肥を手で握りしめ拳に付着するぐらいが60%前後です。
 *比重の簡易な測定法として、ポリバケツ等（容積測定）を用い、重さを測定することで比重を推定することができます。

表1 堆肥化処理条件

処理施設 条件	堆肥舎	箱型通気式堆肥舎		開放型堆肥化施設		密閉型堆肥化施設	
		発酵槽	堆肥舎	発酵槽	堆肥舎	発酵槽	堆肥舎
原料水分	70%以下	70%以下	—	70%以下	—	70%以下	—
堆肥水分	60%程度	—	50～60%	—	50～60%	—	40%以下
切返し回数	1回/月以上	—	1回/月	—	1回/月	—	1回/月
攪拌回数	—	—	—	1～2回/月	—	20～40回/時	—
通気量	—	0.05m ³ /分以上	—	0.05m ³ /分以上	—	0.05m ³ /分以上	—

(堆肥化設計マニュアル)

4. 良質な堆肥の目安

良質な堆肥の目安としては、悪臭がない（かすかな土壌臭）、色が暗褐色から黒褐色を示す、水分等を加えても温度が上がらないなどがあります。

排せつ物(ふん尿)の 適切な管理と利用を図りましょう!

家畜の排せつ物(ふん尿)は、これまで有機質資源として農地へ還元することで有効に利用されてきましたが、近年、規模拡大の進展などに伴って、その利用が難しくなり、県内でも地域の生活環境に関する様々な問題が生じています。

このような中、今後、畜産を持続的に発展させ、併せて地域の環境を守るという趣旨で、平成11年11月1日に「家畜排せつ物の管理の適性化及び利用の促進に関する法律」が施行されました。

法律の概要

(1) 畜産農家には、排せつ物の適正な管理をするために、管理基準を守ることが求められています。

◎管理基準

- ☆ふん処理・保管施設は、床をコンクリートその他の不浸透性材料で築造し、適正な覆いおよび側壁を有するものとする
- ☆尿やスラリー(ふん尿混合)の処理・保管施設は、床をコンクリートその他の不浸透性材料で築造した構造の貯留槽とすること
- ☆既に設置している堆肥舎等については、破損した場合の修繕や維持管理を適切に行うこと

平成16年10月までに野積み、素堀りを解消しなければなりません。

なお、小規模農家(牛は10頭未満)については適用されません。

※6か月未満の子牛と10か月未満で出荷されることが確実な子牛は頭数に算定されませんので、繁殖経営の場合、繁殖牛(育成牛を含む)を10頭以上飼養している農家が対象となります。

◎都道府県知事は、必要な指導・助言・勧告・命令を行うことができるとされています。

なお、これらはあくまでも自発的な改善をしていただくことが目的ですので、早めの取り組みをお願いします。

(2) 国が策定する基本方針に基づき、県は排せつ物処理・利用施設整備の目標等を内容とした「県計画」を策定することになっております。

支援措置

☆所得税・法人税、固定資産税の軽減

☆各種補助事業、畜産環境整備リース事業の実施

☆金融上の支援措置

排せつ物処理・利用施設の整備計画を作成し、県知事の認定を受ければ、農林漁業金融公庫から必要な資金を借りることができます。

※詳しくは、県畜産課、西臼杵支庁、各農林振興局、各農業改良普及センター、各家畜保健衛生所にお気軽に宇ご相談下さい。

「照萩」号間接検定で日本一 脂肪交雑4.1

照萩号は平成4年4月23日に、兵庫県美方郡で誕生した種雄牛です。父は、兵庫県で基幹種雄牛として活躍している照長土井、母きこは、菊照土井の娘牛であり但馬牛では父母共に菊美系を代表する名牛と言えます。菊美系の美点として、資質がすばらしく(特に被毛、骨締り)体の伸びもある産子が多いのが特徴と言えますが、惜しまれる点として後軀(尻、腿)が乏しく体の深みがないものも見られます。検定産子は、資質、中軀は全体的に揃っていましたが後軀の乏しさは但馬牛の特徴を受け継いだものと言えるでしょう。枝肉については、脂肪交雑4.1と全国トップの成績であり、また全体的にモモヌケが良く揃った枝肉でしたが、枝肉重量が全国平均よりやや小さいことが惜しまれます。照萩号は、フィールドでも好成績が出ており今後、本県和牛の肉質向上に大きく貢献することが期待されます。



「照萩」号



「照萩」号の枝肉断面

平成10年度間接検定終了牛の成績

名号	父	母	産地	終了時 体重(Kg)	DG(Kg)	枝肉 重量(Kg)	ロース芯 面積(cm ²)	バラの 厚さ(cm)	皮下脂肪 厚(cm)	脂肪 交雜
照萩	照長土井	菊照土井	兵庫県	568.4	0.90	340	49	6.1	2.5	4.1
花幸平	安平	幸久	高原町	629.8	0.97	379	52	6.6	2.3	3.1
北文安	糸弘2	糸秀	小林市	612.0	0.94	370	51	6.8	2.5	2.3
福福桜	隆桜	安福	高原町	553.1	0.85	330	47	6.5	1.6	3.0
隆平20	誠隆	第20平茂	都城市	569.3	0.93	362	45	6.9	2.6	3.0
花幸桜	隆桜	幸久	高原町	617.6	1.01	373	50	6.5	2.4	3.1
糸弘桜	糸弘2	糸光	山田町	583.3	0.97	352	45	7.0	2.1	3.2
南気高	誠隆	第20平茂	串間市	622.3	0.95	381	47	6.7	2.2	3.0
弓平福	安平	隆桜	五ヶ瀬町	622.8	1.01	380	47	6.9	2.1	3.3
糸永桜	福桜	糸福	佐土原町	604.0	0.92	361	47	6.4	2.1	3.3
孝鶴田	第2安鶴土井	安谷土井	兵庫県	607.9	0.95	360	47	6.0	2.0	2.4
全 国 平 均	(58セット)			587.3	0.91	350	47	6.3	2.0	2.6

今後の行事予定

